

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	情報連携 BIM 研究小委員会	主 査 名：岡 正樹 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：加賀有津子
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、これまでの情報関連の標準化動向および要素技術の研究成果を基礎とし、新たな統合技術である BIM (Building Information Modeling) の調査研究を行うことにより情報技術の建築生産実務への適用性の向上をめざしたい。</p> <p>初年度：新たな統合技術である BIM (Building Information Modeling) の調査研究。ISO、IAI の動向調査。情報関連の標準化動向および要素技術の調査研究。</p> <p>2 年度：企画・設計に始まる建物のライフサイクル全般にわたって高度の情報連携を実現する BIM 適用の仕組み構築の可能性のまとめ。情報連携技術の建築生産実務への適用の可能性のまとめ。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：岡正樹 (CI ラボ) 幹事：今野一富 (高砂熱学工業) 委員：寺井達夫 (千葉工業大学)、三 雲正夫 (自営)、片岡裕美 (フジタ)、千葉貴史 (建築ピボット)、恒川裕史 (竹中工務店)、松並孝明 (オーク情報システム)、柴峯一廣 (梓設計)、山下純一 (CI ラボ)	
設置 WG (WG 名：目的)	BIM 調査研究 WG ：BIM の海外国内動向調査とまとめ、ISO、IAI の活動成果の調査 情報連携技術 WG ：情報連携の基盤技術の調査研究とまとめ	
2009 年度予算	83,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/jyoho/m050

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (WG と共同開催を含む) 4/28、9/3、10/5、11/26、3/11
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 32 回情報・システム・利用・技術シンポジウム小委員会企画研究集会② 「BIM 活用の現状と課題」(設計・生産の情報化小委員会と共同) 参加者数 79 名 『第 32 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収 (pp. 225-239)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>当初計画していた活動目標に基づき、下記の成果を得た。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設計および施工段階において BIM がどのように利用されているか、これからさらなる活用を考えたときにどのような課題があるかについて、設計・生産の情報化小委員会と共同で、研究集会を企画し有用な報告・討論ができた（第32回情報・システム・利用・技術シンポジウム小委員会企画研究集会「BIM活用の現状と課題」）。 2. BIMの関連調査研究として、ISO、IAIの活動とその課題のフォローを行う。国内動向としてはCO₂積算の進捗状況、次世代CADと積算との連携の調査を行っている。 3. BIMツールとしてのCADの仕様性能の調査比較研究を行っている。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報収集だけではなく考察と展望を視野に入れた活動を行う。 2. 建築学会の枠外の方をゲストとして招き、実務的な活動状況の把握と意見交換を随時行っていきたい。
<p>その他</p>	